

新型コロナウイルスに関する OCAMI 共同利用・共同研究拠点の対応について (2020年9月1日)

大阪市立大学新型コロナウイルス緊急対策本部「新型コロナウイルス感染症に対する本学の方針について(第6版)」(令和2年8月24日)を遵守して、OCAMI 拠点事業を推進します。

(1) 大阪市立大学の研究活動に関する指針「レベル2 - 制限(中程度)」以上の場合：共同利用・共同研究活動におけるミーティング・研究集会等については、中止または年度内の延期、またはオンラインによる遠隔で実施を要請します。

(2) 大阪市立大学の研究活動に関する指針「レベル1 - 制限(小程度)」の場合：共同利用・共同研究活動におけるミーティング・研究集会等については、短時間の打合せ等を除き、原則としてオンラインによる遠隔で行うこと。オンライン開催で目的を達成できない場合は中止または年度内延期とします。

(3) 大阪市立大学の研究活動に関する指針「レベル0 - 制限なし」の場合：通常実施とします。

現在の本学の研究活動に関する指針「レベル1 - 制限(小程度)」に従い、本学の数学研究所関係施設を利用した共同利用・共同研究拠点の活動を行うにあたり、下記の感染防止策を講じます。

- 会場は収容定員の半分以下の参加人数とします。
- 会場の消毒を徹底します。
- 会場各所へアルコール消毒液を設置します(参加者数に応じて十分な数を設置)。
- 会場の換気を十分に行い、滞在時間・滞在人数も事前に定め、必要最小限に留めること。
- 参加者名簿の作成をお願いします(様式あり、もれなく把握すること)。
- 人と人との距離を2m以上確保し、参加者全員のマスク着用、手洗い・うがい・アルコール消毒を励行することを要請します。
- 飲食を伴わないこと。
- 施設利用者の健康状態(参加前の検温、体調観察[呼吸困難、倦怠感、味覚・嗅覚異常]等)を把握すること(健康状態に異変がある場合は参加せず待機し、来学後異変がある場合は、責任者に連絡をとり指示を仰ぐこと)

【海外からの研究者の受入れ・招へい等について】

本拠点の共同利用・共同研究に係る海外からの研究者の受入れ・招へい等については、事態が終息するまでは中止又は延期を要請します。

【海外への研究者の派遣】

本拠点の共同利用・共同研究に係る海外への研究者派遣は、感染症危険レベル3の国・地域へは「渡航不可」、感染症危険レベル2の国・地域へは「原則として渡航不可」とする。